



## 特集 YA映画祭

### 突撃!となりの仕事人 プロサッカー選手

#### 編集後記

私がシリーズで全部観た映画といえば、やっぱり「ハリー・ポッター」シリーズですね。今年の夏についに完結しましたが、まだまだ物語は続いていきそうな感じでした。

エンドロールがすべて終わったあとに、何だか寂しい気持ちになっちゃいました。(編集:A・K)

今回のWAKABAはV・ファーレン満載号 表紙の写真はマスコットキャラのViviくんです。イベントがあって来てくれたんですが、図書館のあちこちを動きまわる姿がかわいかったなあ。みんなもV・ファーレン長崎の応援、よろしくお願いします(編集:C・F)

映画化された本って、たくさんあるんですね。今年の秋は、1人でじっくり原作を読むのもよし!誰かとゆったり映画を観るのも楽しそうです。(編集A・I)



#### #YAコーナーからお知らせ#

##### 【YA映画会】

芸術の秋にちなんで、初のYA向け映画会を開催します。どなたでも鑑賞できるので、お友達と一緒にどうぞ♪

- 10月23日(日) 多目的ホール  
①「プリティ・プリンセス」(13:00~字幕上映)  
②「スクールオブロック」(15:15~字幕上映)

##### 特集テーマ「YA映画祭」

9~10月の展示では、映画やドラマの原作本を集めています。映画は観たけど、原作は読んでいない方、ぜひぜひ!足を運んでみてくださいね☆新たな発見があるかも!?

あなたは原作派ですか?それとも映画派?

##### 投稿テーマ「イチオシMOVIEをおしえてください」

みんなの好きな映画は何ですか?思わず誰かに教えたい、そんな作品があればぜひ教えてください♪芸術の秋を満喫しましょう!

##### #利用についてのお願い#

※自習はスタディルームを利用しましょう。  
図書館では読書や調べものをされる方のために席をご用意しています。館内の閲覧席での自学自習はご遠慮ください。

「WAKABA」第30号 (YA通信 / 10・11月号)  
表紙の写真:長崎市立図書館多目的ホール 発行:YA編集部  
Nagasaki City Library,2011

# 突撃となりの仕事人



今回はV・ファーレン長崎でGK(ゴールキーパー)として活躍中の近藤健一さんにインタビューしてきました☆  
練習の合間に、YAボランティアさんがお話を伺ってきたよ♪

今月のお仕事  
プロサッカー選手

仕事人ファイル:10  
V・ファーレン長崎  
ポジション GK  
こんどう けんいち  
近藤 健一 さん



#### YA:この仕事を選んだ理由は?

小学5年生からサッカーを始めました。サッカーの楽しさや喜びをもっと知ってほしい、サッカーの輪を広げていきたいと思っていたところ、Jリーグが開始されたのでプロ選手になろうと決心しました。

#### YA:この仕事のやりがいは?

V・ファーレン長崎はJリーグのひとつ下のランクのチームなので、上にあがるという目標があります。その実現に向けて頑張っています。それに、長崎県内の方にサッカーやJリーグをもっと広めていきたいですね。

#### YA:この仕事の大変なところは?

外でプレーするので、夏は暑くて冬は寒いこと!それに競争の世界ですし、プロの選手としてプレーできる期間が短いことも厳しいですね。

YA:今の仕事についていなければ、どんな事をしていたと思いますか?  
郵便局員さんとか(笑)涼しい所で仕事したいです。

YA:お休みの日は何をしていますか?  
先日子どもが生まれたので、その子のお守りです。



「海辺のカフカ」上・下巻  
村上春樹/著 新潮社  
B/913.6/ムラ  
(上:¥705 下:¥743)

YA:中高生にオススメの本、映画は?  
本だと「海辺のカフカ」  
音楽は「ハナレグミ」  
映画は「ゴッドファーザー」

YA:なでしこジャパンがW杯優勝しましたが、サッカーをする女性についてどう思いますか?

サッカー仲間としてがんばってほしいです。女性のなかには日焼けが嫌な人も多いようですが、それでもプレーするのは、それを上回るほどサッカーが好きなんだと思います。

#### YA:この仕事を目指す人たちにメッセージをお願いします。

この仕事は海外にも通用しますし、自分の考え方や力次第でどんどん上にいきます!意識を高く持ってがんばってください!!

試合に向けて練習に励んでいるなか、インタビューを受けてくださってありがとうございました!みんなもV・ファーレン長崎の活躍を応援してね♪

「かもめ食堂」群 ようこ／著 幻冬舎  
F/913.6/ムレ (¥1238)

くじ運の良い主人公・サチエは、あるできごとを転機にフィンランドで食堂を開きます。そこに次々と集まってくる、ちょっと変わった人びととの生活は、北欧ならではのゆったりとした時間とともに過ぎていきます。

そんな中で惹きつけられるのは、かもめ食堂の看板メニュー“おにぎり”！本で読んでも、映画で見ても、そのおいしそうなおにぎりはとても魅力的。思わず「食べたい！！」って、我慢できなくなるはずです。



## YA映画祭



「大木家のたのしい旅行 新婚地獄篇」  
前田 司郎／著 幻冬舎  
F/913.6/マエ (¥1600)

新婚旅行で向かった先は・なんと地獄！？地獄の入口、地獄の住人、宿に食べ物に地獄のお祭り！次々に出てくる想像もつかない奇妙な旅路の中、信義と咲はお互いを見つめなおしていく。不思議でおかしく、なぜかせつない地獄旅行。あなたも体験してみませんか？

「まほろ駅前多田便利軒」 (¥1600)  
「まほろ駅前番外地」 (¥1500)  
三浦しをん／著 文藝春秋  
F/913.6/ミウ

お困りの節はお電話ください。多田・行天(ぎょうてん)コンビが迅速に解決いたします。東京のはずれに位置する“まほろ市”。この街の駅前でひっそり営まれる便利屋稼業。依頼人はまほろ市に住むくせ者たち。共にバツイチ男ふたりの痛快でちょっぴり熱い物語。続編の「まほろ駅前番外地」にはそれぞれの登場人物が主人公になる全7編を収録しています。



「しゃべれども しゃべれども」  
佐藤 多佳子／著 新潮社  
B/913.6/サト (¥590)

しゃべれどもしゃべれども、本当に伝えたいことが伝えられない。そんな悩みを抱える人々になぜか落語を教えるハメになった若い落語家の物語。テンポの良い語り口に読後に非常に気持ち良い気分させてくれる作品です。

「アントキノイノチ」  
さだ まさし／著 幻冬舎  
Y/913.6/サダ (¥1333)

杏平は、高校時代にある同級生の「悪意」に翻弄され、その男を2度も殺しかけ、自分自身も心の病気にかかってしまう。しかし、遺品整理会社で働き始め、故人とその遺族のためどんな悲惨な現場でも誠実に立ち向かう先輩達と過ごすうちに杏平の心は癒されていく…。生命の重さ、大切さについて考えさせられる一冊です。



「山の郵便配達」  
彭 見明／著 大木 康／訳  
集英社 F/923.7/ポ (¥1600)

人の足で3日かけて手紙を配達する中国の山奥の村。配達の仕事でほとんど家に居なかった父、その仕事を引き継ぐことになった息子。疎遠だった父子の心の交流と、郵便配達員の仕事の大切さと厳しさが描かれます。淡々と進む物語の中、息子を見守る父の目が優しく、心が温くなる一冊です。(表題作ほか、5篇収録)

## V・ファーレン長崎 訪問しました！



選手おすすめの本がのっています。  
長崎市立図書館で配布中！



V・ファーレン長崎の練習場に行ってきました！YAボランティアさんにも仕事人インタビューのお手伝いをしてもらいましたよ。練習中、真剣な表情でボールを追いかける姿が印象的でした。

図書館では選手の方のおすすめ本を紹介したパンフレットを配布しています。良かったら手に取ってみてね  
これからもV・ファーレン長崎の応援をよろしくお願いします。



## キラリ☆作家 はやみね かおる

【作者紹介】

1964年、三重県に生まれました。大学時代に小説を投稿するも小学校の教師になって一旦中断。

その後、生徒を読書好きにするために本を探そうとして、結局自身で児童ミステリー小説を執筆します。

「怪盗道化師(ピエロ)」が第30回講談社児童文学新人賞に入選し、平成2年にデビュー。「名探偵夢水清志郎事件ノート」は大人気シリーズに。平成13年から執筆活動に専念しました。(参考:WHOプラス)

「都会(まち)のトム&ソーヤ」  
講談社 Y/913.6/ハヤ (¥950)

身の回りにある道具を使ってピンチを切り抜ける内人と天才的な頭脳を持つ創也。2人の中学生が都会のなかで大冒険を繰り広げます。どこにいても冒険は出来る！

「少年名探偵虹北恭助の冒険」  
講談社 Y/913.6/ハヤ (¥840)

虹北商店街で巻き起こる不思議な謎の数々。美少女・野村響子をワトソン役に、小学6年生の名探偵・虹北恭助の推理が冴える！



「僕と先輩のマジカル・ライフ」  
角川書店 F/913.6/ハヤ (¥1200)

大学に入学した快人は、幼なじみの春奈と一緒に「あやかし研究会」という怪しげなサークルにムリヤリ入部させられることに。オカルトにまつわる謎の事件を、個性的な先輩とともに解明していきます。

